

## 札幌市立高等学校との連携事業 平成25年度看護職・リハビリ職体験学習プログラムを実施。

平成26年1月7日(火)、札幌市立高校(札幌開成高等学校、札幌清田高等学校、札幌啓北商業高等学校、札幌新川高等学校、札幌平岸高等学校、札幌藻岩高等学校)の学生74名が本学を訪問しました。昨年に引き続き、2度目となるこの大学訪問は、大学と高等学校の教育活動(授業等)に対する相互支援を目的として行われたプログラムです。

看護師、理学療法士、作業療法士と3分野に分かれ、午前中は模擬講義を、午後からは体験実習を行いました。職業について体験など大学ならではの講義に積極的に参加する姿が見受けられました。

今回の体験学習プログラムの経験を元に将来の進路選択・決定の助力となれば幸いです。

### 体験メニュー

- **看護師**  
模擬講義：自分の生活を振り返り健康になろう！  
体験実習：身体機能を測定してみよう！
- **理学療法士**  
模擬講義：理学療法と筋肉  
～筋力測定とストレッチを通じて～  
体験実習：同テーマで体験実習
- **作業療法士**  
模擬講義：作業することで楽しくなる  
～作業の意味を考えよう～  
体験実習：同テーマで体験実習



## 札幌開成高等学校特別講義「プレ先端科学特論」を実施。

平成26年1月8日(水)、9日(木)の2日間にわたり、札幌開成高等学校コスモサイエンス科1年生57名を対象に特別講義「プレ先端科学特論」を実施しました。

テーマは「自分の遺伝子を解析してみよう」。初日は本学個性健康科学研究所 太田亨教授による遺伝子の基礎知識についての講義と、実際に自分の遺伝子を解析する実験を行いました。2日目は琉球大学大学院 医学研究科遺伝医学講座の要匡准教授による講義「PCRで倍返し、NGSで千倍返し～身近な遺伝と最新機器によるゲノム解析の話～」の後、午後からは遺伝子解析実験の続きと結果の確認を行い、また玉ねぎからDNAを抽出する実験も行いました。最後には2日間の実験の成果について全体討議を行いました。



また、遺伝子解析実験や最先端の講義など、大学での授業を体験し、有意義な時間を過ごしたようでした。

## サハリン・ロシア極東地域 ビジネス交流モニターツアー参加者、本学視察。

平成26年1月29日(水)に「サハリン・ロシア極東地域ビジネス交流モニターツアー」で北海道を訪れていた参加者一行5名が本学を視察しました。

このツアーは、北海道のビジネス交流促進事業として企画されたもので、1週間の滞在期間中に北海道内の民間企業や医療関連機関などをめぐり、交流創出の可能性を模索することが目的です。

本学では12月に、大学間提携を結ぶ海外大学との更なる交流促進と新たな国際事業としてロシア・サハリン州、沿海州との交流展開を目指し「国際交流推進室(Global Networking Office: GNO)」を立ち上げました。ロシアとの交流は医療・健康分野における技術協力や業務提携の検討が緒に就いたばかりです。今回のツアー受け入れは、ロシアの医療事情についての情報収集の

点でも有益なものとなりました。

当別キャンパスでは、新川学長、半田国際交流推進室長をはじめ齋藤歯学部長、古市歯科・内科クリニック院長、泉リハビリテーション科学部長、和田薬学部長が両国の医療事情などについて意見交換を行いました。施設見学では、まず、リハビリテーション科学部に設けられている最新のリハビリ実習施設「バリアフリーラボ」を見学。日本のリハビリ教育の質の高さを感じていました。

その後、札幌あいの里キャンパスに移動し、大学病院歯科部の診療室や手術室などの各施設についての説明を受け、質問を繰り返し、時間をかけて見学を行いました。大学病院の充実した歯科診療施設や設備はもちろんのこと、静かに歯科治療を受けている子供を見て、医療技術や治療環境にも高い関心を寄せていました。



充実したディスカッションの後に参加者全員で記念撮影



歯科機器や治療方法などに関する質疑応答の様子

## JICA青年研修で 中央アジア・コーカサス研修生来学。

2013年度JICA青年研修(職業訓練教育コース)で来日している7名が、平成26年2月7日(金)に本学を訪れました。

本コース参加者の本学での研修内容については、研修のコーディネーター(北海道YMCA)から事前に「看護職の人材育成」というテーマの希望があったため、本学での看護職育成と資格取得に向けた特徴のある取り組みを交えて平看護福祉学部長、三国看護学科長からの説明がありました。

今回、来学した研修生の母国は、ウズベキスタン、タジキスタン、アゼルバイジャンの3カ国で、日本との国情や制度の違いはあるものの、人材育成制度にとどまらず教育制度や資格取得プロセス、学位取得にも非常に強い興味を持っているようでした。

研修生たちは午後からの予定があったため、本学での研修は予定時間の11時30分で終了しましたが、時間を惜しむように質問をしたり、施設の見学を行っていました。

